

北魚沼あぜ道情報

またもや豪雪??

雪掘りで流れる汗が、時折差す
目の光できらきらと...



▲震災復興の
願いをこめて
「結」のキャンドル

なあって、のんきに天を仰いでいる場合ではありません。油断していると大粒の雪の結晶が天と地の見境なく降り続け、片付けたばかりの跡地に容赦なく積もります。いや、積もり続けま

す。あつという間です、本当に...。

大雪の被害が報道されていますが、その中でも心温まる話があるのが日本なんですよね。猛吹雪で立ち往生した方たちを近くの小学校に避難させ、近所の方たちが、おにぎりや暖かいスープを用意したそうです。夜中の3時だったとか。困った時はお互い様、さりげない助け合いの精神、日本に生まれ

育ったことを誇りに思います。そこで話を無理やり持っていきますが、差し入れといったらやはり、「おにぎり」なんですよ。

お腹を空かせているだろう！少しでも早く届けてあげよう！と焚けたばかりの熱いごはんを、手をつつ赤にしながら握る姿を思うとじーんと胸が熱くなります。心のこもった暖かくて美味しい『おにぎり』。お腹も心も満たされたと思います。

さて、雪に嘆いている場合ではありません。魚沼の地では23年産米の反省を踏まえた24年産米の米作りにも雪をも溶かす勢いの熱心な意見交換の場、生産者の総会が管内各地で始まりました。

今年も目指すは『世界最高水準の美味しい魚沼産コシヒカリ』JA北魚沼管内から生産されるお米が、ブランド米のトップとしての位置付けを確立するため、稲作指導や販売方法など検討が繰り返されます。

段取り8割。成功の裏には段取りがどれほど重要かを示す割合。今が美味しい米作りの段取りの時期です。とても重要な時期です。

インフルエンザの声も聞こえてますが、ご飯をしっかりと食べて寒い冬を乗り切りましょう！ファイト オー！

(JA北魚沼 佐藤)

冬のおめまはイベント盛りだくさん

今シーズンもまた魚沼の大地に沢山降り積もってくれました、雪。

大切な家屋が雪の重みで押しつぶされてしまわないよう、休日の度に屋根の雪下ろし作業をしていたのですが、先日ついに屋根から下ろして庭に積みあがった雪が一階部分の小屋根とつながってしまいました...もう、雪「降ろし」でなく雪「上げ」です。お日様が顔を見せて雪の力さを減らしてくれる日が、本当に待ち遠しい今日この頃です。

とはいえ、雪が沢山降るのはここ魚沼では毎年のこと。沢山降って困った難儀だくと嘆いてばかりではありません。積雪量が最大になる2月には、市内各地で雪を利用した様々なイベントが催されます。市内各スキー場で行なわれるスキーカーニバルや、小出地区の国際雪合戦大会、雪の中、子宝を願って新郎の頭から冷水を浴びせる(ー)堀之内地区の奇祭、雪中花水祝いなどなど。まだまだ沢山ありますが、市内の各家庭では各イベントに合わせて震災復興を願った「結」のキャンドルが灯されます。

イベント盛り沢山の冬の魚沼、暖かい服装に着替えて、是非遊びにいらして下さい！

(野村)